

(3) 基本的方向性3 市民ぐるみで支え合う仕組みづくり

基本施策3-1 園・学校と家庭、地域が支え合う仕組みづくり

社会全体で子どもの成長を支えるため、地域に開かれた園・学校づくりや、地域住民・企業・大学等の教育機関がもつ人的資源や技能など、地域の教育力を生かした学習環境づくりを進めます。

成果指標の動向

保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動を学校の教育水準の向上に効果的に活用している学校の割合

年度 区分	当初値	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	目標値 (R 5)	達成 区分	出典
小学校	91.2	100	86.8	92.9	92.9	100	95.0	◎	札幌市学校教育指導の実態調査
中学校	81.8	88.6	76.5	78.6	75.5	91.6	85.0	◎	

家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合(※) 家の人や地域の人に認められたり、支えられたりしていると感じることがある子どもの割合

年度 区分	当初値	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	目標値 (R 5)	達成 区分	出典
小 5	78.8 (小6)	74.7 (小6)	80.0	80.8	81.3	80.6	80.0	◎	さっぽろっ子「学 ぶ力」の育成プラ ン 札幌市全体の 共通指標
中 2	74.8 (中3)	75.8 (中3)	74.5	75.8	76.0	80.9	77.0	◎	

施策の評価と今後の課題

- 各学校における教育活動の自己評価や、保護者など学校関係者等による評価とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等からの理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携・協力による学校づくりを進めてきたことにより、地域人材の効果的な活用を示す成果指標は、目標値に到達した。
- ⇒ 学校が抱える課題は複雑化・困難化しており、学校と地域との連携・協働がより一層重要であることから、地域住民や保護者等が学校運営に参画するコミュニティ・スクールを導入し、学校・家庭・地域が育てたい子ども像や目指す学校像を共有し、一体となって子どもたちを育む必要がある。
- 家庭教育の重要性を発信するとともに、子育てや家庭教育に関する知識等を学習する機会を提供し、家族間のコミュニケーション増加に繋がるような取組等を行った結果、家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合は、小5・中2ともに目標値に到達した。
- ⇒ 保護者等がより安心して子育てや家庭教育を行えるよう、「家庭教育学級」や「親育ち応援団」を実施し、家庭教育の支援を充実させることで、家庭における教育力の向上を図る必要がある。

事業・取組評価

施策体系コード	3-1-1	再 掲	3-1-2		
事業・取組名	地域学校協働活動の推進				
担当課	生涯学習推進課	主な対象範囲		小中・高・生涯学習	
事業・取組内容	子どもたちを対象に地域の力を生かした多様な学びや体験の機会を提供するとともに、活動を通じて地域と学校の持続可能な連携・協働の体制づくりを支援し、地域全体で子どもを育てる環境を醸成する。				
令和5年度の取組結果	R5年度より事業名称を変更してプログラムの平日拡大を本格実施したほか、新たに学校支援の活動を取り入れるなど、従来のプログラム企画実施のための事業から、地域と学校の連携・協働の体制づくりを支援する事業へと転換を図った。 また、36校32運営協議会で子どもたちに学びや体験の機会等を提供し、子どもの年間延べ参加者数が27,000人を超えるなど、H26年度の事業発足以降、過去最大の参加者数となった。				
評価と今後の方向性	引き続き活動の実施を通じて、地域と学校の持続可能な連携・協働の体制づくりを支援する。 また、コミュニティ・スクールの導入に合わせ、社会教育法第9条の7に基づき、コーディネーター等の地域人材を地域学校協働活動推進員へと委嘱し、法律に位置付けられた存在として、地域学校協働活動の推進に関わる人材の配置を進める。				

施策体系コード	3-1-1	再 掲	3-1-2	
事業・取組名	学校運営協議会制度の導入に係る検討			
担当課	学びのプロジェクト担当課	主な対象範囲	就学前・小中・高	
事業・取組内容	地域と学校とが連携・協力して子どもを育てていくための一つの方策として、札幌の実情を踏まえつつ、学校運営協議会制度の導入を検討する。			
令和5年度の取組結果	地域とともにある学校づくりのモデル研究では、「小中一貫した教育」グランドデザインの実現に向けた、学校・家庭・地域が一緒に考える取組の推進を目的として、実践研究校数を13パートナー校区に拡大して実施した。 また、学校運営協議会制度の導入に向け、学識経験者、有識者で構成される「札幌らしいコミュニティ・スクールの在り方検討委員会」を設置し、検討を行った。R6年度からの制度導入を目指し、学校運営協議会の設置に必要な教育委員会規則等を制定した。			
評価と今後の方向性	モデル研究により、「小中一貫した教育」の理解がより一層深まるとともに、今後の課題など把握することができた。「札幌らしいコミュニティ・スクール在り方検討委員会」の議論から、パートナー校で一つの学校運営協議会を設置し「小中一貫した教育」と連動した仕組みとすることや、「さっぽろっ子自治的な活動」と学校運営協議会をつなげることで「子どもの声」を学校運営に反映させるなどといった、札幌市が目指すコミュニティ・スクールの方向性を構築することができた。 今後は、R6年度から7パートナー校区で学校運営協議会を設置し、全ての学校種においてより一層の導入校拡大を推進していく。			

事業・取組評価

施策体系コード	3-1-2	再 掲		
事業・取組名	園・学校におけるボランティア等の活用			
担当課	教育課程担当課	主な対象範囲	就学前・小中・高・生涯学習	
事業・取組内容	各園・学校における子どもの支援の充実を図るため、地域・企業・大学等と連携し、ボランティア等の活用を推進する。			
令和5年度の取組結果	子ども一人一人の状況に応じた支援の充実に向けて、協定を締結した市内の大学に在籍する学生ボランティアを、90の園・学校に総計148名派遣し、派遣校のニーズに応じて、園外保育(散歩・遠足)の引率補助や少人数指導、帰国外国人児童生徒への母語による支援やスキー学習の補助などを行った。 また、校外学習に活用できる外部人材等に関する情報を校務支援システムに掲載するなど、各学校への周知を図った。			
評価と今後の方向性	派遣先の園・学校からは、子どもたちの学びや成長につながったとの高評価を得たほか、学生が将来教職に就くきっかけを提供することにもつながった。 R6年度は、派遣対象校種を拡大するとともに、学生ボランティア事業への新規参加大学を加えるなどし、派遣校のニーズを勘案しながら、一層の支援の充実を図る。 外部人材の更なる活用を促進するため、関係部局と連携し、多様なボランティア人材の確保を図る。			

施策体系コード	3-1-3	再 掲		
事業・取組名	家庭教育支援の充実			
担当課	生涯学習推進課	主な対象範囲	就学前・小中・生涯学習	
事業・取組内容	園・学校単位で保護者等が自主的に学び合う「家庭教育学級」を推進する。また、仕事を持つ保護者等が参加しやすいように工夫して「親育ち応援団講演会」を開催するとともに、家庭教育に関する情報発信を充実させ、意識啓発を図る。			
令和5年度の取組結果	家庭教育学級は81の園・学校で開設し、保護者らが年間を通して学習会を企画・開催したほか、学級間の情報交換会を3回実施した。 また、親育ち応援団事業では、家庭教育学級未開設の園・学校で出前講座を5回開催したり、各区保育・子育て支援センター等と連携した講座を10回開催したほか、「さっぽろ家庭教育ナビ」を活用した講座の動画配信や、講師に親野智可等氏を招いたオンライン講演会を開催した。			
評価と今後の方向性	保護者が家庭教育について継続的に学び、交流する場を提供することで、子育てに対する不安感や孤立感の軽減に寄与できた。 また、子育てや仕事などで忙しく、学習機会への直接的な参加が難しい親に対しても、家庭教育の重要性を発信するため、「さっぽろ家庭教育ナビ」を中心としたオンラインの取組やSNSでの情報発信に注力した。今後も引き続き気軽に学習できる環境の整備を進めていく。			

事業・取組評価

施策体系コード	3-1-3	再 掲		
事業・取組名	幼児期の教育に関する保護者等への支援			
担当課	教育相談担当課	主な対象範囲	就学前	
事業・取組内容	市立幼稚園等において、幼児やその保護者等を対象に、活動体験や子育てに関する講座などを実施する。また、預かり保育を通して、保護者との連携を強化する。			
令和5年度の取組結果	市立幼稚園の「ポロップひろば（未就学児の子育て広場）」は、概ね計画どおりに実施し、1,977人が参加した。その中で、子育て講座を26回実施した（R6年3月末時点）。 「さっぽろっ子『学び』のススメ【幼児版】」は、全ての公立保育所に加えて希望する私立幼児教育施設の計104園に11,368枚を配布した。また、活用方法についてアンケートを実施した。 市立幼稚園預かり保育事業は、園児数の減少の影響もあり、利用者が減少した。（預かり保育利用実績13,844名（R5年3月末時点））			
評価と今後の方向性	ポロップひろばの参加者から、「幼稚園で遊ばせたい」「同年代の子と遊ばせたい」などの声が届いている。今後は、より多くの家庭が参加できるように、保護者のニーズを捉え、内容や方法を工夫して柔軟な形で開催する。 「さっぽろっ子『学び』のススメ【幼児版】」のより効果的な活用を促すため、市立幼稚園の実践例や、アンケートに寄せられた感想を啓発資料に生かして周知する。 預かり保育は、就労等により一定程度の利用がある。引き続き利用しやすい環境を整えつつ、保育士の研修を実施するなど保育内容の質の向上や子育ての支援の在り方について検討する。			



ゆっぽろ ちっきゅん おっほん

【札幌らしい特色ある学校教育のキャラクター】

札幌の子どもたちが、「札幌らしい特色ある学校教育」の【雪】【環境】【読書】にかかわる学習に親しみをもって取り組めるよう、平成 22 年（2010 年）に誕生しました。

令和 6 年度

教育委員会事務点検・評価報告書

～令和 5 年度事業・取組～

令和 6 年（2024 年）9 月発行

＜編集・発行＞

札幌市教育委員会 生涯学習部 総務課

〒060-0002

札幌市中央区北 2 条西 2 丁目 S T V 北 2 条ビル

TEL (011)211-3825 FAX (011)211-3828

市政等資料番号	01-S01-24-1872
関係部局保存期間	5 年間